



動かそう未来! 松江土建のDX

令和 8年 3月 1日
松江土建株式会社

「3つのシン」への想いと「外部を含めたデジタル・トランスフォーメーションについて」



代表取締役社長 平塚 智朗

全員が一致結束し自ら動き、動かす組織をつくりあげ、その組織が生成AI等のITを駆使することで、時間や労力の効率化とDXがなされた状態となり、そこから働きやすい環境が生まれ、DX人材も育ち続け、結果として事業基盤の強化につなげていくとの想いで「3つのシン」を掲げました

また、松江土建のDX戦略に協力業者も自ずと引っ張られていく状態とするため、協力業者を積極的に我々のDX戦略に巻き込み、建設業者全体で前進させます。

我々は松江土建の「3つのシン」を建設業者一丸となって取り組み、“動かそう未来！松江土建のDX”を実現させます。

松江土建の経営ビジョン

松江土建は自ら動かす明るい未来を実現することをミッションとして企業活動の方針を定めています。そのミッションを達成するために、既存の事業、業務、タスクすべてにおいて「新」「進」「深」をテーマとしてこれまでにない挑戦を行うよう、全社一丸となって取り組んでいます。

Mission

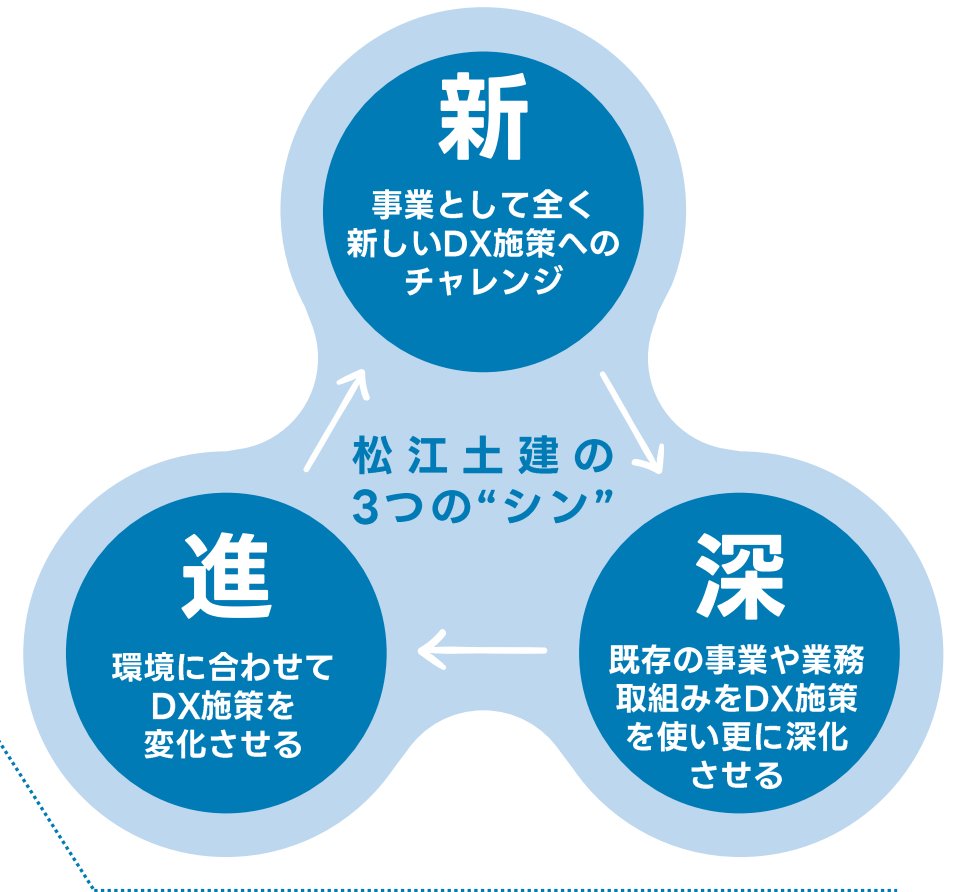
自ら動かす明るい未来の実現

Vision

3つの“シン”により明るい未来を実現する

Value

山陰エリアの建設会社の中でIT技術を最も駆使している最先端企業になる



DX戦略

3つの“シン”を実現するため、DX部門では3つのPhaseに分けたDX戦略を描いています。
「新」「進」「深」それぞれのテーマに沿ってシステム導入を進めます。
単にシステムの導入で終わりにするだけでなく、建設業全体で前進していくことで真の
「デジタル・トランスフォーメーション」を進めていきます。

Phase
01

2026年～

DXの基礎となるシステムの導入
部門単位のDX推進

Phase
02

2030年～

システム間の情報連携
社内全体のDX推進

Phase
03

2033年～

社外を含めたDX推進

新

DXによる新たな取組

- BIM/CIMモデリングシステムの導入
- カーボンリサイクルシステムの構築

進

工事現場のDX

- 施工省人化への取組
- リモート現場管理の定着
- AIエージェント導入による工程作成の自動化

深

バックオフィスのDX

- 生成AIシステムの導入
- 請求書の電子化
- タレントマネジメントシステムの導入

- 自社設計施工案件でのBIM完全活用
- (自社)建設施工現場のDX

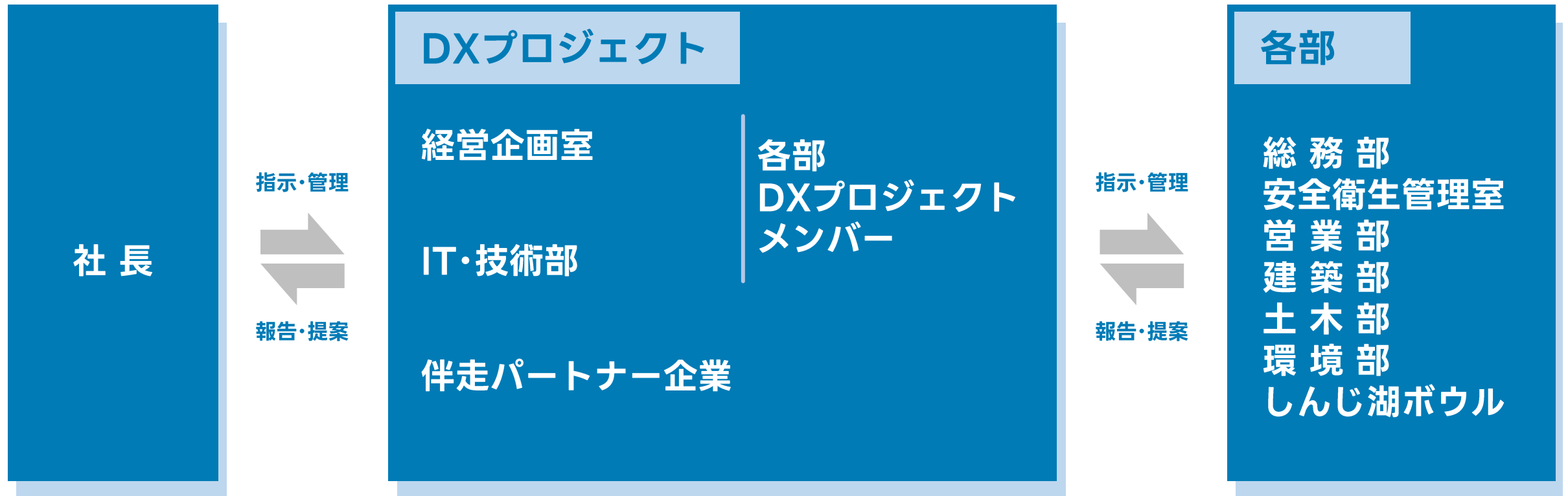
- リモート現場管理情報のデータ共有
- 工程をベースとした各タスクの自動化

- 会社全体の情報検索/作成ツールとしての生成AI利用
- 契約のEDI化
- 人事データの一元化

- 外部業者を含めた建設業界でのDX推進
 - > BIM/CIMビジネス開始
 - > 取引先を含めた請求業務の自動化
 - > 取引先を含めた工程の共有

体制・組織及び人材の育成・確保

松江土建では各部門から選抜されたメンバー、経営企画室、IT・技術部、そして伴走パートナー企業で構成される「DXプロジェクト会議」を運営しています。この会議を通じて現場のリアルな意見を反映したDX推進を行うとともに、参画メンバーが実戦的な知識や経験を習得することで、組織全体にDXに関する知見を蓄積できる体制を構築しています。



成果指標の設定 (Phase1)

松江土建では、各Phaseごとに成果指標を設定しており、進捗や成果を継続的に測定しています。定量的な指標により随時戦略を見直し、最適なDX環境を社内で整えることを目指します。

Phase1

DXの基礎となるシステムの導入。部門単位のDX推進

01

Key Results

(DXによる) 売上高の確保

100百万円/年

02

Key Results

労働生産性 (全社)

20%アップ

03

Key Results

IT関連資格取得者

ITパスポート : 10人

DXパスポート : 5人

AIアドバイザー : 5人